



笹中だより

伊丹市立笹原中学校 学校通信
第20号 平成31年 2月22日
編集責任者 校長 菰口太志

【学校評価の結果報告】

12月に保護者の皆様にお願ひしました学校評価のアンケート結果、および、その分析・まとめが終わりましたので、主な結果についてご報告いたします。今後も、いただきましたご意見等をふまえ、笹原中学校をよりよい学校にするために、改善してまいります。

なお、教職員の自己評価ならびに学校関係者評価を入れました「学校評価総括表」の詳細につきましては、すでに学校HP（ホームページ）に掲載しておりますので、どうぞ、ごらんください。アンケートへのご協力、本当にありがとうございました。

＜保護者アンケートより＞（※アンケート結果より一部抜粋）

ほとんどの項目で肯定的評価が80%を超えています。ただし、「学校は、いじめや子ども同士のトラブルなどにしっかりと対応している（79.7%→78.5%）」「学校は、朝読書や図書館の整備、図書館だよりの発行など、読書に親しむ機会を設けている（92.6%→88.3%）」等については、改善の必要があります。

（肯定的評価の%）

アンケート項目	H30年度	H29年度
学校は保護者や地域の願ひに込えている	88.5 %	85.7 %
学校は電子黒板やプロジェクターなどのデジタル機器を授業に取り入れている	86.1 %	79.1 %
先生は生徒の学力向上のため、授業の工夫や笹トレなど補習授業の実施に努めている	89.1 %	87.2 %
学校はコミュニティスクールへの移行を進め、保護者や地域との連携に努めている	86.1 %	81.2 %

＜生徒アンケートより＞（※アンケート結果より一部抜粋）

ほとんどの項目で肯定的評価が80%を超えています。ただし、「授業で話し合いや発表する場面で、積極的に発言できる（53.8%→61.6%）」「学校は朝の読書や図書館利用など読書に力を入れている（69.5%→78.6%）」「地域の行事（祭り、餅つき、運動会、ボランティア活動など）に参加している（54.0%→63.0%）」等については、評価は上がっていますが、もう少し改善の余地があります。

（肯定的評価の%）

アンケート項目	H30年度	H29年度
学校に行くのが楽しい	82.0 %	73.2 %
学校行事（体育大会・宿泊行事・トライやるなど）は楽しい	95.2 %	87.0 %
先生は電子黒板やプロジェクターなどデジタル機器を使うなど工夫して教えてくれる	95.9 %	89.5 %
授業はわかりやすく楽しい	82.0 %	68.3 %
授業の最後に学習内容を振り返る活動が行われている	89.3 %	70.2 %
笹トレで教え合ひすることは学力向上に効果がある	80.0 %	64.0 %
自分を大切にすることや他人への思いやりについて教えてくれている	87.4 %	81.1 %
学校で、あいさつや時間など社会のルールやマナーについて教えてくれている	95.4 %	89.5 %

＜第5回学校運営協議会＞ ～学校関係者評価～

2月16日（土）10：30～、本校のCSルーム（格技棟1F）で、今年度最終の第5回学校運営協議会を開催しました。会議の中で、学校評価（自己評価含む）についてのご意見をいただきましたので、主なものを紹介します。



- 「笹トレ」を軸にした教育活動によって、生徒たちの意識が、かなりプラスの方向に改善されてきたようです。今後も「笹トレ」の意義を充分意識付けしてください。
- 学校長の経営方針や教育方針を、教職員に充分理解させることは必要であり、そのための議論は必要です。
- 危機管理において、生徒へ常日頃からのちょっとした防災教育が進められているようです。今後も継続した防災教育を望みます。
- また、地域と連携した防災訓練も今後必要になると思います。

- 多くの先生方が、授業においてデジタル機器を活用しているため、生徒の理解が向上しているようです。
- 指導方法の工夫改善において、すべての教員が改善していこうとの意識が見られ、生徒に対して好影響を与えているようです。
- 授業での積極的な発言ができる学習場面の設定は、今後の課題と言えます。
- 家庭学習については、生徒全体に浸透してきている様子がうかがわれます。
- 特別支援教育の推進では、教職員全員が同じ目線で指導にあたるのが重要となります。今後の努力に期待します。
- 読書活動の充実では、朝の読書タイムの充実を図ることが重要であり、終わりの会などで先生方から生徒に読書に関するちょっとしたヒントを出す必要もあります。
- また、各教科や総合の調べ学習など、授業の中で積極的に図書室を活用することも先生方へお願いしたい。
- 生徒指導の充実では、迅速かつ丁寧に対応が行われており、問題の拡大を未然に防ぐことができているようです。
- 生徒の学校や教育に対する肯定的評価が高いのは、学校が過ごしやすく安全な場所となっているからだと思います。
- 進路指導においては、「キャリア教育」が意識化されているように思います。
- 健康な体づくりでは、給食の完食（残食ゼロ）が続けられているようで、笹中ブランドの1つとして継続を期待したい。
- 開かれた信頼される学校づくり（地域との連携）では、コミュニティ・スクールとして、学校運営協議会が少しずつ充実していると思います。
- 学校だよりやホームページ、学年だより等により、学校の情報がよく伝わっている。
- 「笹中地域サポーター制度」により、生徒会・部活動を中心としたボランティア活動が充実し、小中連携、地域連携が深まっていると思います。
- 教育環境の整備では、2年間に渡る改修工事により、校舎全体が明るくなったため、清潔感がただよっています。生徒や保護者によい影響をもたらしていると思いますので、劣化箇所気づいたらすぐに修繕にあたってほしい。



総括として、『昨年以上に学校が落ち着きを取り戻していることが、学校公開や参観授業から伝わってきます。今後はさらなる充実に向けて、評価表の細部まで点検してください。そして、次年度に向けては、「笹トレ」によって、「学年を超えた人間関係作り」や「自身の能力開発」等につなげることを、オブザーバーの伊藤教授から指導・助言していただいております。